

「中間報告」からの基本政策の変更点

計画における現状認識

- ▶ 社会経済環境の変化の認識と的確な対応
- ▶ 分権の時代における市民と行政の役割
- ▶ 川崎の足跡とこれからの歩み

まちづくりの基本目標「

協働と協調のもとに、いきいきとすこやかに暮らせるまちをつくる

川崎の特徴や長所を活かし、持続型社会の実現に貢献する

自治と分権を進め、愛着と誇りを共有できるまちをつくる

政策に反映すべき基本的視点

新たな時代にふさわしい価値観の創造と先駆的な取組を進める

地球社会の構成員として川崎が主体的で責任ある活動を進めるとともに、持続型社会の中でいきいきと暮らすためのよりどころとなる施策を展開する

首都圏の好位置にある川崎としての個性を活かす

首都圏の好位置にある川崎のポテンシャルや幅広い地域資源を活かしなが、広域的・総合的な視点に基づく施策を展開する

相互信頼に基づき自立と自己決定を尊重する

市民と行政との相互信頼に基づいてパートナーシップを構築するとともに、自立と自己決定を尊重しながら、それぞれの役割を適切に担う施策を展開する

市民が実感できる効果的な政策を経営的視点に立って創造する

市民が効果を実感できるように、多様な事業主体や手法を適切に選択しながら、きめ細やかな施策を展開する

基本政策（中間報告時）

安全で快適に暮らす
まちづくり

- ◇ 快適に暮らせるまちをつくる
- ◇ 安定した供給機能を提供する
- ◇ 安全な暮らしを守る

幸せな暮らしを共に支える
まちづくり

- ◇ 自助・共助・公助のしくみを育てる
- ◇ ノーマライゼーションを進める
- ◇ 安心な暮らしを確保する
- ◇ すこやかで健全な暮らしを守る
- ◇ 地域での確かな医療を提供する

人を育て心を育む
まちづくり

- ◇ 地域で子どもを慈しみ育てる
- ◇ 生涯を通じて学び、成長する
- ◇ 共に支え生きる心を育む

環境を守り自然と調和した
まちづくり

- ◇ 生活環境を守る
- ◇ 環境配慮と循環型のしくみをつくる
- ◇ 緑を守り、育てる
- ◇ 農を興し、親しむ
- ◇ 憩いとうるおいをつくり出す

活力にあふれ躍動する
まちづくり

- ◇ 川崎を支える産業を育てる
- ◇ 新たな産業の芽を出す
- ◇ 臨海部から川崎の再生を進める
- ◇ 都市の拠点機能を整備する
- ◇ 基幹的な交通体系を構築する

地域の魅力が輝く
自治と風格のまちづくり

- ◇ 川崎の魅力を育てる
- ◇ 川崎に集い、楽しむ
- ◇ 市民自治を拡充する
- ◇ 地域の個性を尊重する

（変更後）

安全で快適に暮らす
まちづくり

- ◇ 身近な住環境を整える
- ◇ 快適な地域交通環境をつくる
- ◇ 暮らしの安全を守る
- ◇ 災害や危機に備える
- ◇ 安定した供給・循環機能を提供する

幸せな暮らしを
共に支えるまちづくり

- ◇ 超高齢社会を見据えた安心のしくみを育てる
- ◇ 障害のある人が地域で共に暮らせる社会をつくる
- ◇ 安心な暮らしを保障する
- ◇ すこやかで健全な暮らしを守る
- ◇ 地域での確かな医療を供給する

人を育て心を育む
まちづくり

- ◇ 子育てを地域社会全体で支える
- ◇ 子どもが生きる力を身につける
- ◇ 生涯を通じて学び、成長する
- ◇ 地域人材の多様な能力を活かす
- ◇ 共に支え生きる社会をつくる

環境を守り自然と
調和したまちづくり

- ◇ 環境に配慮し循環型のしくみをつくる
- ◇ 生活環境を守る
- ◇ 緑豊かな環境をつくりだす

活力にあふれ躍動する
まちづくり

- ◇ 川崎を支える産業を振興する
- ◇ 新たな産業を創り、育てる
- ◇ 就業を支援し、勤労者施策を推進する
- ◇ 川崎臨海部の機能を高める
- ◇ 都市の拠点機能を整備する
- ◇ 基幹的な交通体系を構築する

個性と魅力が輝く
まちづくり

- ◇ 川崎の魅力を育て、発信する
- ◇ 文化を育み交流する
- ◇ 多摩川などの水辺空間を活かす

参加と協働による
市民自治のまちづくり

- ◇ 自治と協働のしくみをつくる
- ◇ 市民と協働して地域課題を解決する
- ◇ 市民満足度の高い行政サービスを提供する

今後取り組むべきと考えられる主な課題

- ・地域の声を活かしたまちづくり
- ・バリアフリー対策の推進
- ・自転車との共生への取組
- ・地域生活基盤、交通手段の整備
- ・良好な住環境の維持、改善
- ・消費生活の安全
- ・上水道
- ・下水道
- ・消防、救急
- ・危機管理、災害対策 等

- ・共助社会を支える地域福祉の充実
- ・地域を支える市民活動の推進
- ・高齢者パワーの活用
- ・介護予防の推進
- ・障害者福祉
- ・生活保護
- ・ホームレスの自立支援
- ・健康づくり
- ・医療 等

- ・総合的な子育て支援
- ・確かな学力の育成
- ・地域に根ざし、開かれた、特色ある学校づくり
- ・学校施設の有効活用
- ・学校の適規模、適正配置
- ・地域課題解決のための生涯学習のしくみづくり
- ・地域スポーツ・レクリエーション支援
- ・シニア世代の能力活用
- ・若者の社会参加・活動への支援
- ・人権・男女共同・多文化共生・平和等

- ・地球環境に配慮した取組（地球温暖化防止等）
- ・廃棄物減量化、リサイクル
- ・資源循環
- ・産業分野における環境貢献の推進
- ・地域環境対策（公害等）の推進
- ・緑の保全、創出、育成
- ・公園緑地の整備
- ・都市農地の保全と市民が農に親しむしくみづくり 等

- ・産業の競争力強化と産業集積の形成
- ・ものづくり機能の発展・新産業創出
- ・都市農業の振興
- ・環境関連技術、生活文化産業の振興
- ・コミュニティビジネス・勤労者施策
- ・商店街を活かしたまちづくり
- ・国際的な物流拠点の整備
- ・羽田国際化等へ対応した基盤づくり
- ・広域的な調和性を踏まえた拠点づくり
- ・広域ネットワークを重視した交通基盤
- ・人を惹きつける魅力的な駅周辺再開発
- ・臨海部再生整備 等

- ・音楽のまちづくり
- ・文化・芸術振興
- ・ホームタウンスポーツ振興
- ・都市イメージ向上
- ・観光振興
- ・地域間交流の推進
- ・多摩川や臨海部を活かした水と親しむ取組 等

- ・市民自治を拡充するしくみづくり
- ・協働のまちづくりの推進
- ・地域を支える市民活動の推進
- ・情報公開、情報提供
- ・区を中心とした地域課題解決のしくみづくり
- ・区役所サービスの向上
- ・総合相談サービス
- ・IT活用 等

基本政策の実現に向けて

新たな時代を切り拓く川崎再生に向けた行財政システムの再構築

地域経営、自治体経営の観点からの取組